

2in1PC

KI-G105U

クイックガイド

V.1.0.20210706

《本紙について》

本紙に掲載された内容は製品及びバージョンによって変更される場合がございます。

記載事項は正確を期すべく細心のチェックが行われていますが、内容の正確性については保証致しかねます。

当社は予告無しに内容を変更する権利を有します。また、本紙内には本製品に付属しない製品の画像や用語も表記されている可能性がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄等に記載のあるもののみとなります。他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

《搭載バッテリーについて》

本製品に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは消耗品となります。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。バッテリー消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。リチウムポリマーバッテリーを長くご使用になるには過充電と過放電にご注意ください。過充電・過放電ともにバッテリーを非常に消耗しますので、バッテリー残量に関しては20%～80%程度の間をキープしてご使用いただくことをおすすめします。また、一度過放電状態になると、再度ご使用いただける状態になるまで充電に時間がかかる場合があります。

※本製品の充電には、必ず付属の充電用 AC アダプタをご使用ください。

◆付属品の確認

● タブレット本体	1台
● キーボード	1個
● キックスタンドカバー	1個
● 充電用ACアダプタ	1個
● WPS Office 2 ライセンスカード	1枚
● クイックガイド(本書)	1部
● 保証書	1枚

◆安全上の注意

- 火気のそば・高温下での使用や、水中への投入、電子レンジやオーブンでの加熱などはおこなわないでください。本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しております。リチウムポリマーバッテリーの故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 充電時は専用のACアダプタをご使用ください。発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本体を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。
- 歩行中、自動車、自転車の運転中に操作はしないでください。
- 本製品を医療機器に近づけたり、ペースメーカーをご使用の方の近くで使用しないでください。
- 濡れた手で電源、本体、付属品に触れないでください。火災や感電の原因となります。
- 使用中は機器が熱を持ちます。電源を入れたまま、素手で同じ場所を長時間持ち続けたり、膝の上で長時間使用しないでください。低温やけどの原因となるおそれがあります。
- 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外で使用しないでください。
- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。(This product is designed for use in Japan only.) 日本国内の家庭用電源以外で使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本体の動作に異常が見られる場合は使用を中断し電源を外したあと、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。(煙が出る、においがする、本体が異常に熱くなる、触れるとビリビリと電気を感じる、本体が変形・破損したなど)
- 航空機内の離着陸時は電源をお切りください。航空機の機器に悪影響が出る場合があります。
- 落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本体をシャットダウンして、電源を外してください。落雷による感電・火災の原因となります。
- 本体や付属品に強い衝撃を与えたり、加熱したり、水をかけたりしないでください。発熱、発火、破裂の原因となります。

◆ご使用上の注意

- ほこりの多い場所や湿度の高い場所に置かないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の前など、高温になる場所で保管、使用をしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本体に強い衝撃や振動を与えないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本製品をガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。
- 毛布やじゅうたんなど静電気を帯びやすいものの近くや、テレビ、磁石、スピーカーボックスの近くなど強い磁気を帯びた場所には置かないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 端子部分にほこりや油を付着させないでください。
- 電源を取り扱う際は、次の点にご注意ください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。
 - コンセントおよび本体コネクタから抜くときは、コードを引っ張らない。
 - 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない。
 - 屋外で使用しない。
 - 布などでくるまない。
- 不安定な場所や地震などによって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。落下、転倒により故障、発熱、発火、破裂、けがの原因となります。
- 液晶ディスプレイを強く押したり、先のとがったものでキズを付けしないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。
- ディスプレイのタッチパネルおよびキーボードのタッチパッド部分は必ず指でタッチしてください。先のとがったものや硬いもので操作をおこなうと、本体破損の原因となります。
- 本製品を設置したり移動する場合は、指などを挟んだり、落下させたりしないよう十分注意してください。故障やけがの原因となります。
- 掃除をおこなう場合は必ず電源を切り、全てのケーブルを抜いたあと、乾燥した柔らかい布で拭いてください。その際には化学薬品は使用しないでください。故障、発火、感電、変色の原因となります。
- 充電が終わったら必ず、電源を抜いてください。過充電によるバッテリーの消耗や、接続中のコードに引っかかるなどの負荷により故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本製品の使用および保管時は、下記の状態にならないようご注意ください。バッテリーの性能低下や膨張の原因になります。
 - 充電しながらの使用
 - 高温環境下での充電や保管
 - 満充電状態での保管
 - 電池残量の少ない状態での長期間放置
 - 電池残量が十分な状態での浅い充放電の繰り返し
- 長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。絶縁劣化などにより故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

◆その他の注意

- 廃棄する場合は各地方自治体の条例に従って破棄してください。本製品にはリチウムポリマーバッテリーが含まれています。廃棄する場合は絶対に「一般ゴミ」として捨てないでください。
- 内蔵リチウムポリマーバッテリーの交換はお客様ではおこなえません。ご購入の販売店または弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。有償の修理・交換対応となります。（その際にデータ、インストール済アプリなどはすべて初期化されますので、必ずバックアップを取ってください。）
- 本製品を長期間使用しない場合は、バッテリー性能の劣化防止のためバッテリーの過放電を防ぐため1ヶ月を目安に定期的に充電をお願いします。
- 熱や水、落下など衝撃による本体の破損やキズ、その他お客様による物理破損は保証対象外となります。
- 液晶ディスプレイの表面を押すと色や明るさのムラが発生することがあります。掃除のときなどは爪を立てたり、過度に力をいれて拭いたりしないでください。
- 液晶パネルは、精密な技術によって製造しているため、その特性として、ドット抜けと呼ばれる液晶パネル内に点灯しない画素（黒点）や、いつも点灯する画素（輝点）、明るさにムラが感じられる場合がありますが、製品の故障ではありません。これらは製造技術上、完全になくすることができないものとなりますので保証対象外となります。

< 恵安株式会社 サポートセンター >

メール: support@keian.co.jp FAX: 03-3980-5327

◆本クイックガイドについて

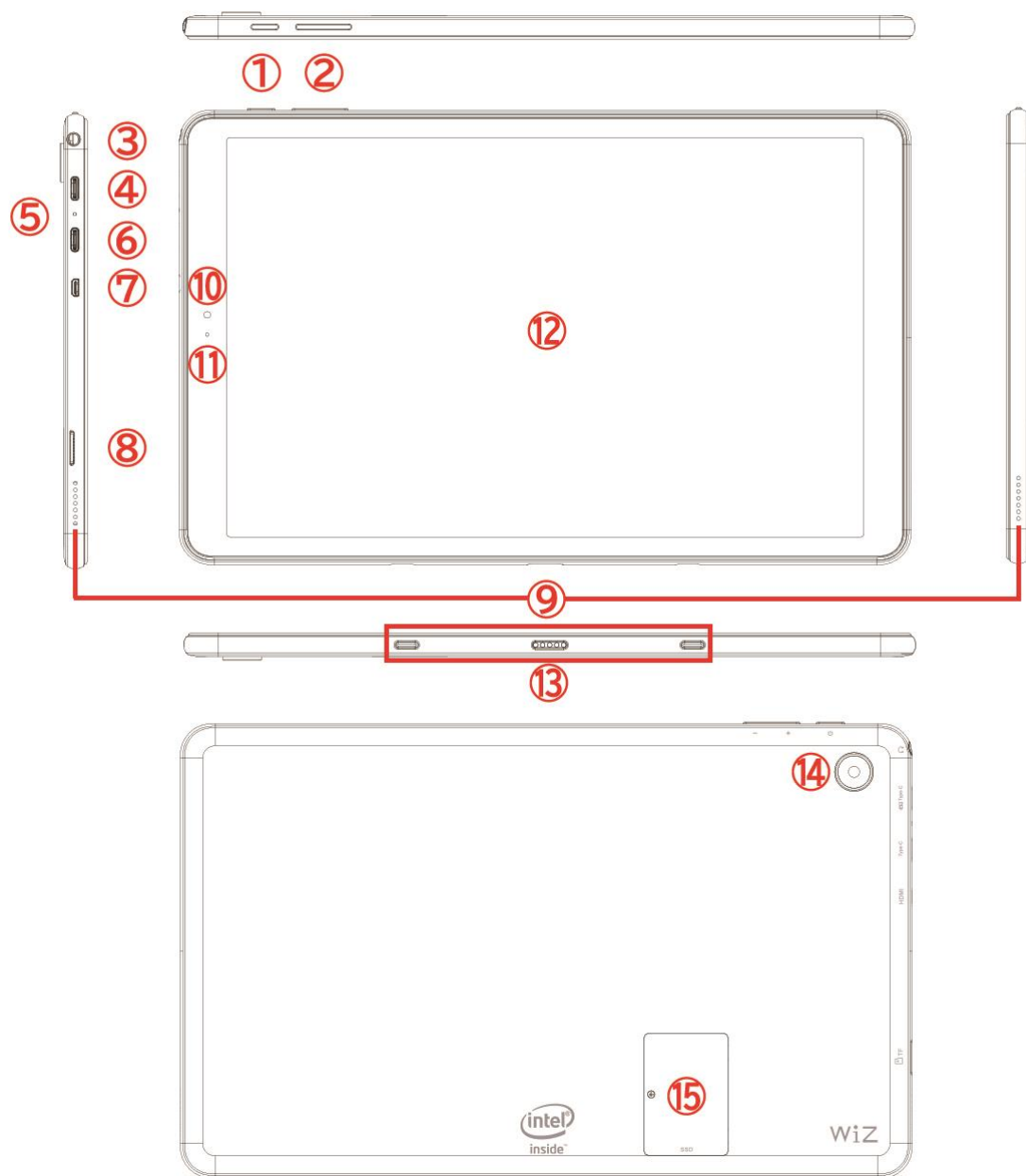
本クイックガイド（以下、本書）は、本製品の基本的な使用方法を記載しています。

本製品の仕様および詳細な使用方法是、本製品の製品ページからご確認いただけます。

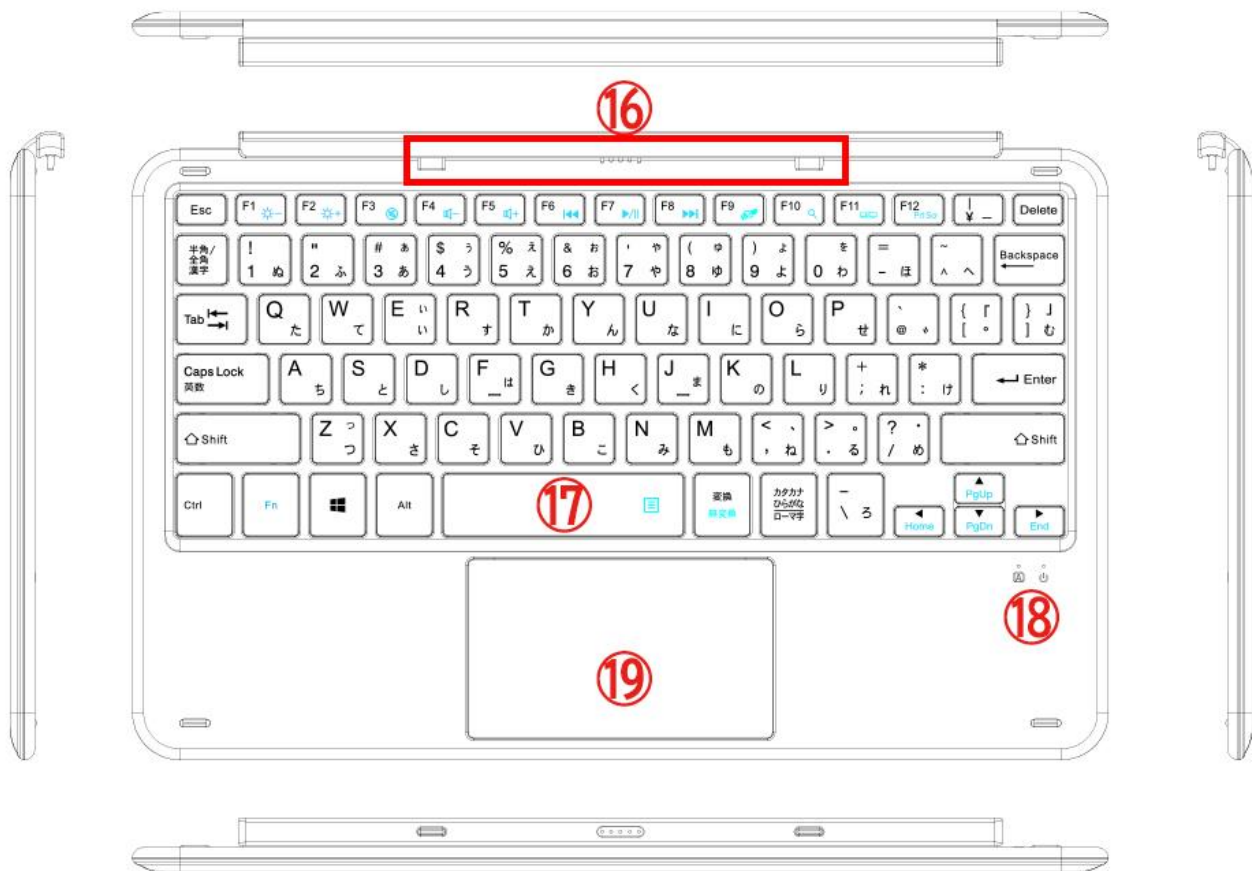
KI-G105U製品ページ: <http://www.keian.co.jp/products/ki-g105u/>

◆各部説明 ※画像はイメージです。

製品本体



キーボード



キーボードを接続して使用する際は、付属のキックスタンドカバーをタブレット本体背面に装着して、キックスタンドを立てて使用してください。

注意:キックスタンドを開きすぎたり、立てた状態で力を加えないでください。破損の原因となります。

装着イメージ



◆各部の説明

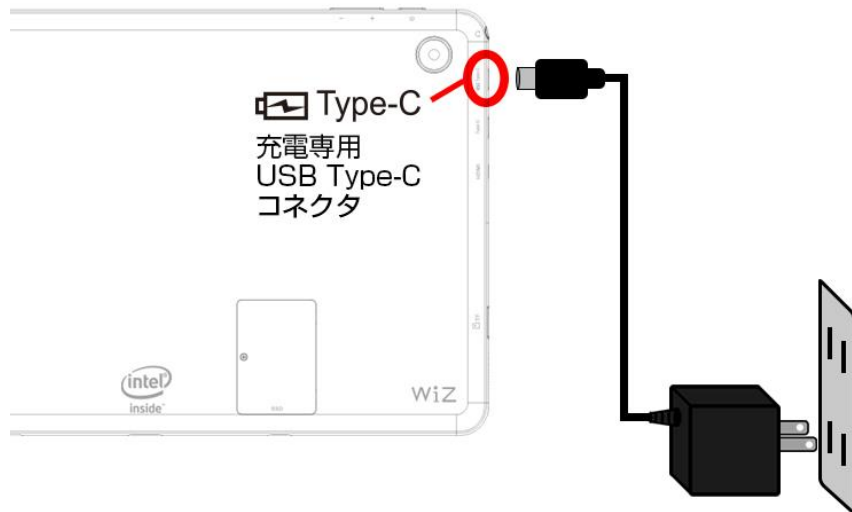
①	電源ボタン	電源のオン/オフに使用します。起動時にはこのボタンを 3～5 秒間押し続けてください。
②	音量 +/- ボタン	このボタンを押す事で音量の +/- を調整可能です。
③	3.5mm ヘッドセットジャック (オーディオ出力+マイク入力)	イヤホンを挿すとスピーカーからイヤホンに音声出力が切り替わります。 また、ヘッドセット(マイク付きイヤホン/ヘッドホン)を接続すると、音声を聞きながらマイクから音声の入力ができます。
④	充電専用 USB Type-C コネクタ	本体への充電用に使用します。充電の際は付属の専用アダプタをご使用ください。 このコネクタでは、データ通信を行うことができません。
⑤	マイク	音声の入力や録音に使用します。
⑥	USB Type-C コネクタ	USB3.2 Gen1 規格に対応した USB Type-C コネクタです。マウス、USB メモリなど外部機器を接続します。機器によっては、別売りの OTG ケーブルが必要な場合があります。また、このコネクタでも付属の専用アダプタで使用して充電することができます。
⑦	microHDMI コネクタ	映像をモニターなどに外部出力することができます。別途、microHDMI ケーブルをお求めください。
⑧	microSD スロット	外部ストレージとして microSD カードを使用できます。(最大 128GB まで) microSD カードの取り付け/取り外し方法: microSD カードの金属端子部分が画面側に来るように裏表を合わせて、スロットの奥まで押し込むとカチッと音がしてロックされます。 取り外しには microSD カードを押し込むとロックが解除されて取り外せます。 注: 指で microSD カードを奥へ押し込みづらい場合は、先の細い棒状のものを使うと作業がしやすいです。また、microSD カードの裏表また挿入方向を間違えないように挿入してください。
⑨	スピーカー	音声を出力します。
⑩	フロントカメラ	200 万画素のフロントカメラです。
⑪	本体側 インジケータランプ	充電中の時は赤く点灯し、フル充電状態の場合は青く点灯します。 充電がされていないときは、消灯します。
⑫	ディスプレイ	映像を表示するディスプレイです。
⑬	キーボード接続部 (メス)	キーボードとタブレットの差込口です。キーボード取り付け時にはキーボード接続部(オス)に合わせて接続してください。
⑭	リアカメラ	500 万画素のリアカメラです。
⑮	SATA3 M.2 SSD スロット	最大 1TB までの B Key Type 2242 規格 SATA3 M.2 SSD を取り付けることができる増設スロットです。
⑯	キーボード接続部 (オス)	キーボードとタブレットの差込口です。キーボード取り付け時にはキーボード接続部(メス)に合わせて接続してください。
⑰	キーボード	文字入力の際に使用します。
⑱	キーボード側 インジケータランプ	タブレットとキーボード接続時に点灯します。 左から、Caps Lock ランプ、電源ランプとなり、機能が ON の時に点灯します。
⑲	タッチパッド	カーソル操作の際に使用します。 Fn+F9 でタッチパッドの有効/無効を切り替えることができます。

◆本体への充電

① 本体の充電専用 USB Type-C コネクタに AC アダプタのコネクタを差し込んでください。

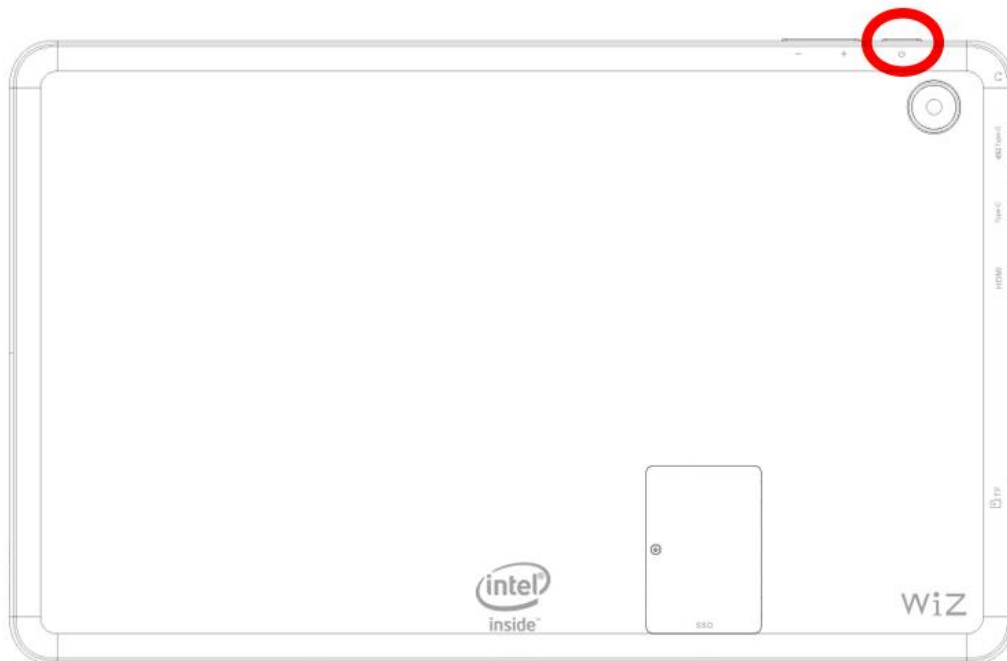
② 充電用 AC アダプタをコンセント(100V)に接続してください。

※初回使用時は一度フル充電を行ってください。充電の残状態にもよりますが、最大で 8 時間程かかる可能性があります。



◆電源の入れ方

本体にある「電源ボタン」を 3～5 秒間押し続けてください。



使い方◆初回起動時

初めて本製品をご使用の際はWindowsの基本設定をおこなう必要があります。

OSのバージョンや、使用される言語などによって若干内容が異なる場合があります。その際は画面上に表示される文章に従って入力をおこなってください。

● 基本設定

- ① 初回起動すると、基本設定が表示されます。
 - (ア) お住まいの地域設定が表示されますので、[日本]を選択し右下の[はい]をクリックしてください。
 - (イ) キーボードレイアウトの選択は、デフォルトのまま、右下の[はい]をクリックしてください。
 - (ウ) [2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか?]の画面が表示されます。ご希望に合わせて設定してください。他の言語のキーボードレイアウトが必要ない場合は[スキップ]をクリックしてください。
- ② ネットワークの設定画面が表示されます。
 - (ア) 無線LAN(Wi-Fi)の環境がある場合は、お持ちのルーターの取扱説明書をご確認のうえ、設定してください。無線LAN(Wi-Fi)の設定は本書の「無線LAN(Wi-Fi)の設定」をご確認ください。初期設定完了後でも設定が可能ですので、ここでは左下の[インターネットに接続していません]をクリックしてください。
 - (イ) 「インターネットに接続すると、さらにいろいろな発見があります」の画面が表示されますが、左下の[制限された設定で続行する]をクリックします。
- ③ アカウント設定画面が表示されます。
 - (ア) Windows10使用許諾契約が表示されますので、内容をご確認のうえ、[同意]をクリックしてください。
 - (イ) アカウント設定をおこないます。ご希望のユーザー名、パスワード、セキュリティの質問を設定してください。

※ 今回は、ネットワーク設定時に[今はスキップ]を選択しているため、オフラインアカウント設定画面が自動的に表示されますが、ネットワーク設定画面で無線LAN(Wi-Fi)設定をおこなっている場合、Microsoftアカウントでのサインイン設定が可能です。Microsoftアカウントを使用してサインイン設定をおこなう場合は、画面に従って設定してください。Microsoftアカウントを使用しない、オフラインアカウント(または、ローカルアカウント)でのサインインをご希望の場合は、左下の[オフラインアカウント]を選択することで設定が可能です。Microsoftアカウントでのサインインは、ここで設定しない場合でも後から「Windowsの設定」内の「アカウント」から設定可能です。

※ 設定したパスワードを忘れないよう、管理に十分ご注意ください。パスワードなどを忘れてしまった場合、メーカーを含めた第三者がそれを解除することは出来ません。
- ④ サービスの設定画面が表示されます。
 - (ア) 「デバイスのプライバシー設定の選択」画面では、各種プライバシー設定が可能です。記載内容をご確認のうえ、適宜設定いただき、[同意]をクリックしてください。
 - (イ) 「Cortana」の権限許可設定が可能です。[詳細情報]を選択することで、権限について確認ができます。[同意]か[今は実行しない]をクリックしてください。
- ⑤ これで初期設定は完了となります。全ての設定が終了するとデスクトップ画面が表示されます。

◆使い方 ・無線LAN(Wi-Fi)の設定

※あらかじめ、ご利用のルーターの [SSID] と [暗号化キー] をご確認ください。

1. 無線LAN(Wi-Fi) をオンにする。

(ア) タスクバー右下にある無線LAN(Wi-Fi) のアイコンをクリックしてください。



(イ) 現れたメニューから[Wi-Fi]をクリックしてください。



(ウ) 無線LAN(Wi-Fi) がオンになると、パネルが青色になり利用可能になります。

2. 次に無線LAN(Wi-Fi)の接続設定をおこないます。

(ア) タスクバーにある無線LAN(Wi-Fi)のアイコンをクリックし、表示されたネットワークの一覧から、利用する親機(無線LAN(Wi-Fi)機器)の [SSID] をクリックしてください。

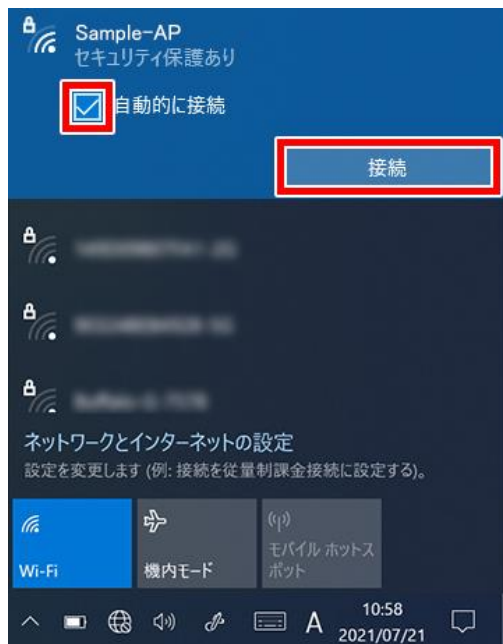


【利用する親機の [SSID] が表示されない場合】

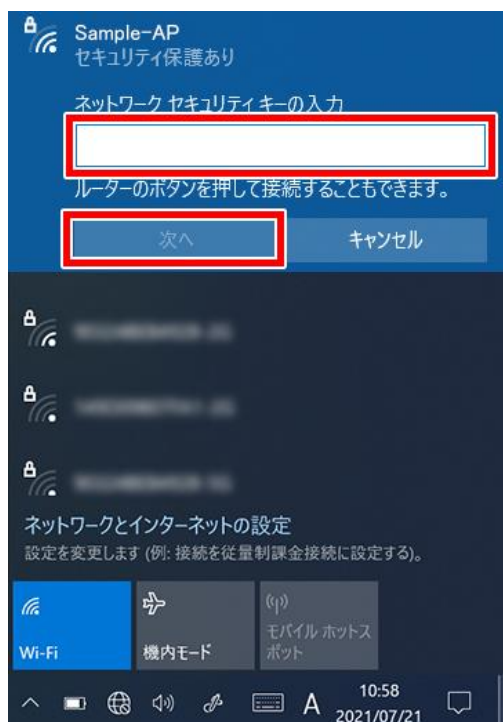
親機の無線LAN(Wi-Fi)機能が有効になっていない、親機の電波が届かない場所にいる、親機がステルスモード ([SSID] が自動的に検出されない状態) になっているなどが考えられます。親機の無線LAN(Wi-Fi)機能がオンになっていることをご確認いただき、電波状態の良い場所で再度お試しください。

(イ) [接続]を選択してください。

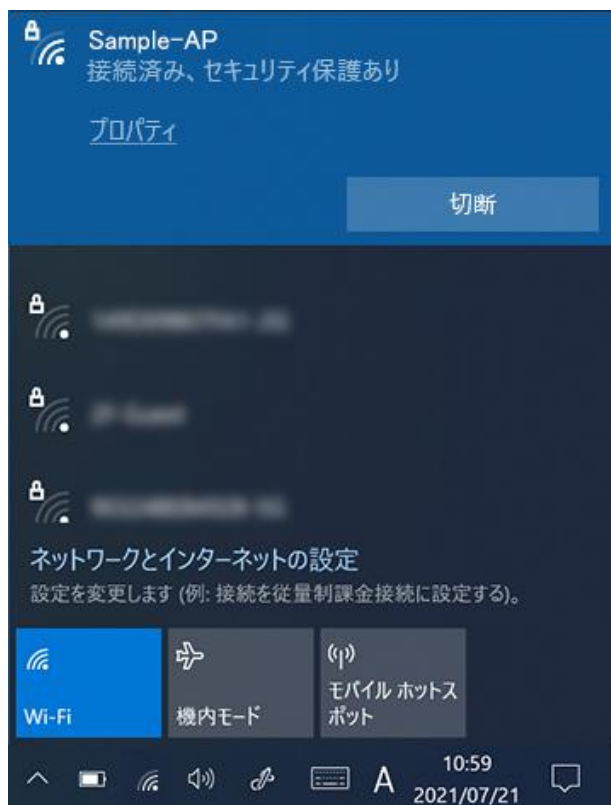
※ 次回から、この [SSID] の電波を受信した際に自動的に接続するようにしたい場合は、[自動的に接続]に チェックを入れます



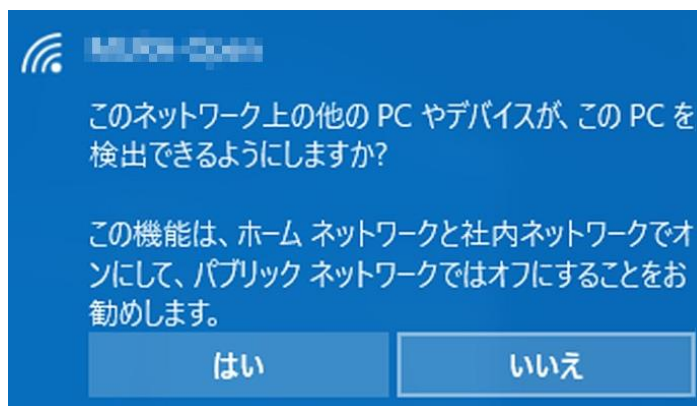
(ウ) [ネットワーク セキュリティ キーの入力]欄に [暗号化キー] を入力してください。入力後、[次へ]をクリックします。※セキュリティ保護のため、パスワードは (●) で表示されます。



(エ) 選択された [SSID] が接続状態になっていることを確認してください。




(オ) 下図のような検出設定が表示された場合は、画面の指示に従って検出設定をおこなってください。



以上で無線LAN(Wi-Fi) の接続設定は完了です。

◆使い方 ・シャットダウンと再起動

[電源  をクリックすると、スリープ、シャットダウン、または再起動ができます。



◆使い方 ・WPS Office 2について

- 用意するもの
付属のWPS Office 2 ライセンスカード

本製品にプリインストールされているWPS Office 2を使用するには、本製品がインターネットに接続されている状態で、付属のWPS Office 2 ライセンスカードに記載してあるシリアル番号を入力する必要があります。

詳しいシリアル番号の入力方法、WPS Office 2のサポート情報はライセンスカードに記載されているWebサイトにアクセスすることで確認できます。

ソフトウェアはデスクトップ画面左下のスタートボタン(Windowsアイコン)をクリックすることで現れる、スタートメニュー内に登録されています。

